

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年10月の動向

- 広島市総合指数（99.4）は前月比で同水準。前年同月比は5か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で同水準。前年同月比は6か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.4）は前月比で6か月連続の下落。前年同月比は14か月連続の下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.4	0.0	▲0.8
生鮮食品を除く総合指数	99.7	0.0	▲0.3
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.4	▲0.1	▲0.9

3 前月からの動き

～食料は上昇，教養娯楽は下落。～

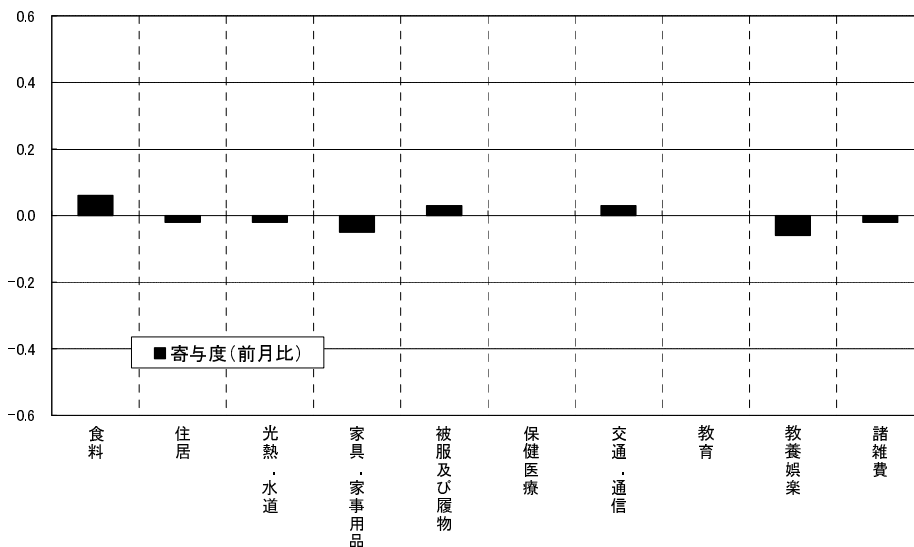
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	99.4	98.8	99.1	106.3	92.5	102.4	99.0	101.3	98.4	94.0	102.8
前月比 (%)	0.0	0.3	▲0.1	▲0.2	▲1.2	0.5	0.0	0.2	0.0	▲0.5	▲0.3
寄与度	0.0	0.06	▲0.02	▲0.02	▲0.05	0.03	0.00	0.03	0.00	▲0.06	▲0.02

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：肉 類（前月比 1.7%，寄与度 0.04）等
 教養娯楽：教養娯楽サービス（前月比 ▲0.7%，寄与度 ▲0.04）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
肉類(牛肉 [国産品] 等)	1.7%	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲4.6%
自動車等関係費(自動車保険料 [任意] 等)	0.4%	教養娯楽サービス(放送受信料[NHK] 等)	▲0.7%
他の被服類(マフラー 等)	6.5%	電気代 (電気代 等)	▲0.9%
果物(みかん 等)	2.3%	魚介類 (さんま 等)	▲1.2%
菓子類(チョコレート 等)	0.9%	教養娯楽用品 (釣ざお 等)	▲1.3%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道は上昇，食料は下落。～

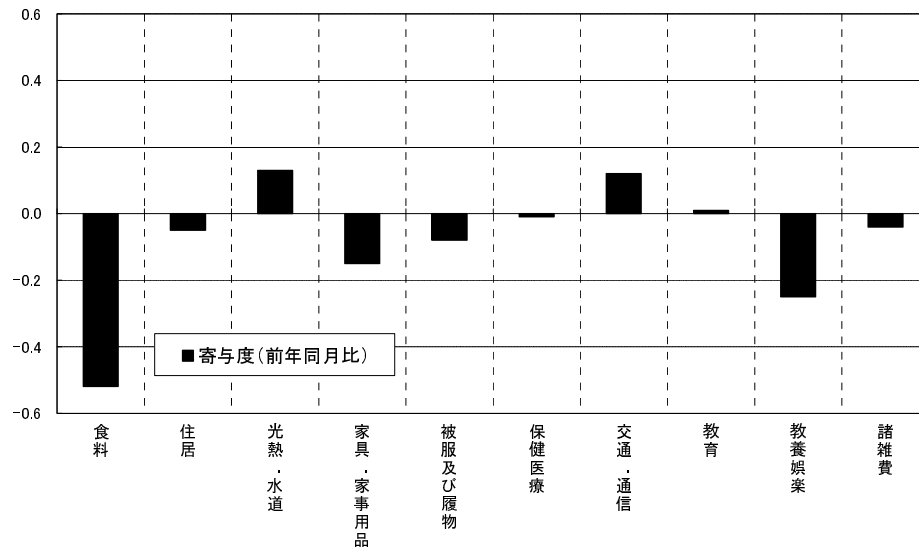
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲0.8	▲2.0	▲0.3	1.7	▲4.0	▲1.8	▲0.2	0.9	0.2	▲2.3	▲0.6
寄与度	▲0.8	▲0.52	▲0.05	0.13	▲0.15	▲0.08	▲0.01	0.12	0.01	▲0.25	▲0.04

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電気代 (前年同月比 1.6%，寄与度 0.06) 等
食料：野菜・海藻 (前年同月比 ▲17.9%，寄与度 ▲0.54) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費(ガソリン 等)	2.3%	野菜・海藻(ねぎ 等)	▲17.9%
電気代 (電気代 等)	1.6%	教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	▲2.6%
ガス代 (都市ガス代 等)	2.5%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲8.4%
穀類 (うるち米 等)	1.8%	教養娯楽用耐久財 (カメラ 等)	▲6.4%
設備・修繕維持(ルームエアコン取付け料 等)	1.1%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.5%